

審判委員会 佐藤副委員長からのメッセージ

== ハーフ タイム ==
東京 F A 審判委員会
第 5 6 号 (2021 年 2 月)

～2021 年新シーズンに向けて with Covid-19～



2021 年はじめの『ハーフタイム』発信にあたり、ご挨拶いたします。
昨年はほぼ 1 年間、審判活動はもとより、サッカーそのものが日常から消えてしまうという、誰にとっても経験したことのない事態となり、身体を動かす楽しみ、仲間と会う楽しみ、審判活動を行う楽しみを奪われ、肉体的・精神的に苦痛な日々を過ごされたことと思います。天皇杯や J リーグ、F リーグなどのトップの大会は国の指針やガイドラインを遵守しながらなんとか開催することができましたが、高校生以下の年代の大会の多くは中止を余儀なくされ、試合に向けて頑張ってきた選手たちの気持ちの行き場のなさを思うと遣り切れなさだけが残ります。

そのような中、昨年末に鹿児島県で開催された「J F A 第 4 4 回全日本 U-12 サッカー選手権大会」では、東京都代表のチームが大変巧みな個とバランスの良い組織が融合したサッカーで、J クラブ下部組織チームを破り見事に優勝を成し遂げました。難しい状況の中で東京のサッカーにとって大変素晴らしい出来事であり、チーム関係者、保護者、都大会で共に戦った相手チームの選手たち等、関わったすべての方々の思い・サポートの成果だと思えます。

新型コロナウイルスという言葉が出てきて 1 年が経ちました。審判員の皆様は、基盤である生活や家族を守るため、また仕事や学業、そして趣味の一部としての審判活動を行うため、自分を律し、日々地道に感染防止、蔓延防止に努めていることと思います。平和な日常を少しでも早く取り戻すため、また不安なく審判活動に取り組める環境に戻すため、マスクの着用、手洗いや手指消毒・うがいの励行といった基本的対策は当たり前のこととして継続し、習慣化するようお願いいたします。

我々審判委員会は、審判員・審判指導者の皆様が少しでも良い環境で審判活動ができることを念頭に活動しています。コロナ禍において東京都サッカー協会が行う試合では、役員、チーム、審判員等が安全安心に活動できるよう、試合に関わる全ての方が健康チェック（日常の検温や体調チェック）を行うルールになっています。試合を依頼する審判員については更に審判活動を行うにあたってのアンケートを定期的実施し、皆様の状況把握と審判派遣のための情報収集と管理を行っています。皆様には今までにない負担をお願いしているところですが、これについても審判活動を行うための必須手続きの一部と捉えて習慣化していただくようお願いします。

先行きが分からない日々がしばらくは続くと思いますが、皆様のたゆまない日々の感染防止対策は必ず明るい未来につながります。東京中のグラウンド、公園や空き地にサッカーボールを追いかける光景を戻すために！

■サッカー2級審判員昇級者の紹介

2020 年度秋の関東 2 級昇級審査が行われ、新たに 2 名の 2 級審判員が誕生しました。
(2020 年度春の審査は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から未開催となっております。)



(サッカー2級審判員 関根岳之 氏)

この度、2020 年度秋に昇級させていただいた、関根岳之と申します。アクティブ審判員としての活動は自身の審判技術向上のために始めたものであり、まさか自分がシルバーワッペンを着けることになるとは、想像もしていませんでした。これも、貴重な経験を積む機会を数多く与えていただいた割当ご担当者様、試合後にわかりやすく丁寧なアドバイスを下さったインストラクターの皆様、より良い試合を作るために切磋琢磨した審判員仲間、周りの全ての皆様の支えにより昇級できたと思っております。今後も、現状に満足することなく、S2 級審判員としての自覚を持って活動したいと考えておりますので、引き続きご指導のほどよろしく願いいたします。

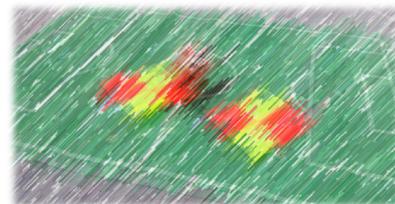


(サッカー2級審判員 後藤啓介 氏)

この度、2020 年度秋に昇級させていただいた後藤啓介と申します。私の審判活動は、東京都サッカー協会の皆様をはじめとし、ピッチで共にした皆様、所属している大学体育会サッカー一部の仲間など数多くの方々の支えがあってこそのものでした。この場をお借りして感謝申し上げます。2 級審判員としての活動が始まりますが、今まで取り組んできたことと変わらず、「選手の為のサッカー」を表現できるよう精一杯励んで参ります。審判員としてサッカーに携わることのできる喜びと、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも審判活動を続けていきます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

■サッカー2級審判インストラクター昇級者の紹介

2020年度 サッカー2級審判インストラクター昇級審査が行われ、ハーフタイム52号でJFA全日本U12サッカー選手権大会指導者研修会参加報告を寄稿して下さいました、小梢正道氏が昇級されました。



(サッカー2級インストラクター 小梢正道 氏)

昨年10・11月に2021年度登録のサッカー2級審判インストラクター審査を受験させていただきました。今回は各都県から計8名が受験し、例年であれば宿泊を伴っての審査ですが、今回はコロナ禍で開催されましたので宿泊はなく、分散日程で審査が行われました。第1回目が映像分析・プレゼンテーション試験、続けて第2回目がオンラインでの競技規則試験、そして最終第3回目がアセスメント・フィードバックの実技試験でした。8月からTFAの皆様方には親身になってご指導いただきました。さらには、実技試験のトレーニングに関わっていただいた審判員の皆様にもこの場をお借りして御礼申し上げます。また現場の皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

■フットサル2級審判員昇級者の紹介

2020年度秋の関東2級昇級審査が行われ、新たに2名の2級審判員が誕生しました。
(2020年度春の審査は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から未開催となっております。)



(フットサル2級審判員 須山泰行 氏)

この度、2020年度秋にフットサル2級審判員に昇級いたしました須山泰行と申します。フットサル部会の皆様をはじめ、日頃からご指導して下さるインストラクターの皆様、日々切磋琢磨してきた審判仲間、家族など様々な方のサポートがあり昇級出来たと思っております。この場をお借りして感謝申し上げます。2級審判員としての責任の重大さに身の引き締まる思いです。今後も東京都のフットサルの発展に微力ではございますが全力を尽くして参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



(フットサル2級審判員 佐貫皓雪 氏)

この度フットサル2級審判員に昇級させていただきました佐貫皓雪と申します。私がフットサルのレフェリーを始めたのは2年前でした。始めたときから2級昇級というのを目標にしてきて、その目標が達成できたのをうれしく思います。しかしながらこれはゴールではなくスタートです。今後は2級審判員としての自覚を持ち、今までは一緒に組むレフェリーに助けられることがほとんどでしたが、これからは自分が一緒に組むレフェリーを引っ張っていけるようにしていきたいと思っております。最後になりますが私を推薦してくださった部会の方々、並びに今まで一緒にレフェリー活動をしてくださった審判員の方々にお礼を述べたいと思っております。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

■フットサル2級審判インストラクター昇級者の紹介

2021年度 フットサル2級審判インストラクター昇級審査が行われ、サッカー・フットサル共に2級審判員である、畠山芳之氏が昇級されました。



(フットサル2級インストラクター 畠山芳之 氏)

今回、フットサル2級インストラクター昇級審査試験を受験した畠山芳之と申します。まずは試験へのチャレンジの機会を与えて頂いた審判委員会フットサル部会の皆様に感謝を申し上げます。例年とは異なり指導実技試験以外は全てリモートでの実施となり、戸惑う事も多々ありましたが何とか合格の通知を頂くことが出来ました。これから2級インストラクターとして活動して行くにあたっては、審判員として経験してきたことを活かしつつ、日々進化していくフットボールの技術や戦術などのトレンドをアップデートすることを怠らず、審判員の皆さんと一緒に成長していくことを目指して行きたいと思っております。

■2019年シーズン 東京都S2級審判員の勇退者の紹介

2019年度シーズンをもって小澤正氏、栗林覚氏、須藤桂太郎氏、宮崎雄二氏の4名の皆様がS2級審判員を勇退されました。新型コロナウイルス感染症の流行により、予定していました春の開幕前研修会での表彰状の授与が中止となりました。長年に渡り東京の審判委員会を支えて頂きました前登録部会長の栗林覚氏に勇退者を代表してご挨拶を頂きました。



25才当時会社サッカー一部のコーチをお願いしていた南雲美紀夫さん(元1級審判員)の勧めで4級を取得、27才で3級昇格しそれから審判活動中心の生活が始まりました。殆どの週末で割当を担当し、31才目前の1997年春に2級昇格となりました。7月の新2級研修「猛暑の葦崎フェスティバル」を経て、東京・関東の主要な試合を多く担当し、その後関東強化メンバーに入れて頂きました。当時1級昇格リミットが35才だったため、僅かな可能性にかけ取り組みましたが、結果は力不足で受験まで至らず、必然の帰結となりました。自己分析すると、上のレベルを担当するには、サッカー競技の本質理解やチーム戦術・競技者の意図にマッチしたゲームコントロールをする技量が足りなかったと思っています。

品質管理の格言に「100(優良な製品)-1(不良品)=0(信用)」というものがありますが、審判に置き換えれば「90-1=0」でしょう。89分まで素晴らしいコントロールをしていても、ラスト1分で致命的なミスを犯せばゲームは台無しになってしまいます。S13として4級取得講習会の講師をする際、審判の喜びとして「試合終了時に敗れたチームから労いの言葉や握手を求められること」と常々格好良いことを言っていますが、自身を振り返るとそんな経験は数えられる程であり、しくじったことや反省することばかりでした。

約14年の審判活動では、競技者の安全確保と公平公正な判定による「スムーズランニング」に努めてきたつもりですが、ただ我武者羅に取り組んでいただけのようにも思います。

最後になりますが、牧野委員長はじめ審判委員会の皆さん、ご指導頂いたアセッサーの方々、本当にお世話になりました。そして刺激し合い切磋琢磨してきた審判仲間に出会えたことが私にとって最良の財産です。本当に有難うございました。皆さんの活動により東京のサッカー、そして関東・日本のサッカーがより魅力的なものとなり発展することを願っています。

■サッカー2級審判員更新講習会に参加して

2021年度シーズンに向けた資格更新講習会が始まりました。サッカー2級更新講習会は新型コロナウイルス感染症の流行により従来とは異なる講習会となりました。ニューノーマルの講習会の様子をお届けします。

(サッカー2級審判員 松島雄大氏)

2021年1月17日、2021年度のS2級更新講習会に参加させていただきました。私たち審判員にとっては毎年恒例の更新講習会ですが、今回はフィットネステストの中止、Web形式での事前に行われた競技規則テスト、そしてオンライン(Zoom)での座学講習会と昨年までとは大きく異なる形式となりました。講習では競技規則テストの解説のほか、映像を用いたグループワークも行われ、「チーム役員の異議への対応」「オフサイドの見極め」の場면을題材に、レフェリーチームでどのように協力して対応すべきか、参加者でディスカッションを行いました。

昨年はコロナの影響で中止となった試合も多く、またトレセンも中止となるなど、他の審判員とお会いし、切磋琢磨する機会も少なかった中、短い時間かつ画面越しではありましたが、ディスカッションの中で意見を交わすことで、独学では得ることが難しい様々な視点からの学び・気づきを得ることができました。2021年も年明けから再び緊急事態宣言が出されるなど、私たち東京の審判員にとっても昨年と同様にこれまでとは大きく異なる予想のつかない1年になることが予想されますが、こうした研修会の機会も生かしながら、その時々で「今の環境の中でできることは何か？」を考えながら、次の試合に向けて準備をしていきたいと思えます。



(オンライン更新講習会を受講する審判員の皆様)

■登録部会より

サッカー4級審判員「新規」・サッカー3級審判員「認定」講習会について 登録部会長 小池昌紀

2020年2月。僕のPCに東京FA審判委員会の事務局からのメールがバンバン飛び込んできた。ストップ、キャンセル、ペンディング。「区市連盟FA主催 S4新規講習会」の中止連絡だ。そりゃそうだ。連日のニュースは新型コロナウイルスのものばかり。受講生が一堂に会する実地集合型の講習会なんてできっこない。でもやばくないか？例年1～3月は「S4新規講習会」の繁忙期。年間約7000名の東京都の新人S4審判員は、半数程度がこの時期に誕生する。ヤバイ、Y A B A I、やっやっやばいぞ。このまま指をくわえてこの成り行きをみていけばいいのだろうか…。

■オンライン「S4新規」講習会

2020年5月末。緊急事態宣言は解除されたがまだ迷っていた。オンライン型の「S4新規講習会」なんてあり得るのだろうか？勝手に進めていいのか？するとちょうど同じ時期にJFAから「オンライン型はGoTo！」と開催方針が打ち出され、ようやく「オンラインS4新規講習会」の開発に本格的に着手した。実際、実地集合型の開催はまだ不透明。ただオンライン型の開発は苦渋の決断。東京FAの「審判員資格認定講習会は実地集合型を基本する」という方針に反するのだ。でも東京都の試合が再開して審判員が足りなくなるのはマズい。ここは進むしかない。

スタッフと連日連夜のメール、ZOOMの打ち合わせを繰り返した。ITの専門家がいる訳ではない。その技術も仕事でのレベルをベースに人それぞれ。僕なんか素人に近い。それでも骨格は固まってきた。

受講生は…（フローI図参照）

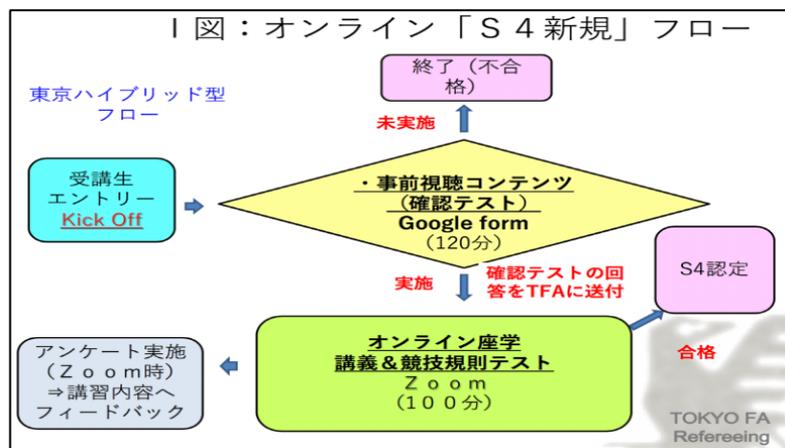
- ①KickOffよりエントリー。
- ②各自が自宅などで、決められた映像を視聴し確認テストを行う。（約120分）
- ③ZOOM講習会で講義と競技規則テストを受ける。（約120分）

この三段論法に挑むことになる。

長時間にわたるPC画面とのにらめっこはダレる。とはいえ顔をあわすことなく各自の映像視聴だけで完結するのは心配だ。

「S4新規講習会」で行う、伝えるべきカリキュラムを完遂するにはどちらがいいのか…。ともにメリットとデメリットが…。

それならば、良いこと取りをしまえ～！ということで、東京FAハイブリッド型として「映像視聴+ZOOM」の「オンラインS4新規講習会」が誕生した。しかしまだまだ悩みは尽きない。準備は膨大だし、ネット環境に左右されるオンラインへの不安も残る。やるしかない。



(オンラインS4新規 フロー図Ⅰ)

■オンライン「S3認定」講習会

「S4新規」に並行して、S4がS3に昇級するための「オンラインS3認定講習会」も開発した。

こちらは…（フローⅡ図参照）

- ①KickOffよりエントリー（審判実績を提出：受験資格で1次審査）。
- ②ZOOM講習会で競技規則テスト（2次審査）。
- ③競技規則テストの基準点をクリアした者のみ課題レポート提出に進む（3次審査）。
- ④上記のすべてをチェックする最終4次審査。

受験者はこの四段論法に挑むことになる。S3になると、一人で試合会場へ行き副審との打ち合わせをこなし、試合をうまく収めてくるという技量が必要なため、誰でもOK牧場という訳にはいかない。ある程度の負荷をかけながら、S3として相応しいのかを見極めていく。難しい。

■オンライン講習会の今後

「オンラインS4新規講習会」は8月から13回開催し668名の新人S4審判員を輩出した。東京ハイブリッド型を紹介した『JFA「S4新規」意見交換会ZOOM』でも高評価を得た。しかし2020年の新人S4輩出数は、なんとか開催にこぎつけた区市連盟FA主催の実地集合型と併せても、例年の3割程度しかない。現在オンライン講習会は、①JFAの著作権映像を使用する②準備、操作性の難しさ③オンライントラブルの不安、という観点から東京FA主催のみにしている。だがもう限界。そりゃそうだ。東京FAは区市連盟FAのサッカー活動のもと成り立っている。

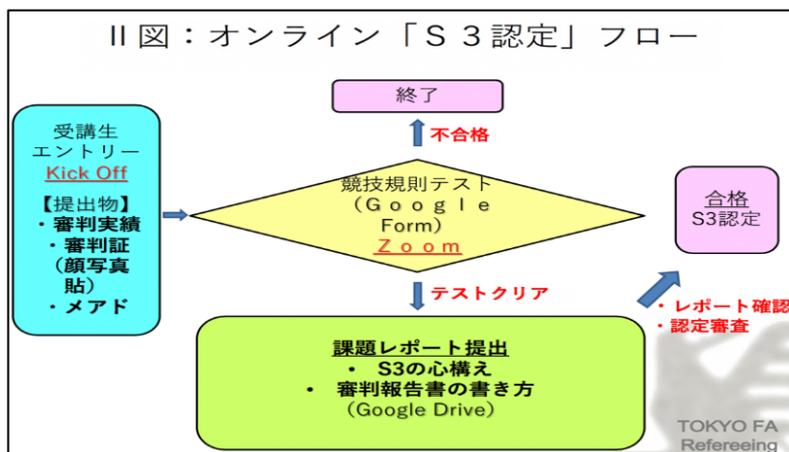
通常は、新人S4もその9割が区市連盟FA主催の実地集合型から誕生している。区市連盟FAなくして東京FAは成り立たないのだ。バカボンのパパなのだ。そのため、「オンラインS4新規を区市連盟FAが開催できるように」という事業を進めている。

内容のバージョンアップも行う。回数を重ね、アンケートを行った結果、改善点がわかってきた。ZOOM講義の進め方もそのひとつ。もっと楽しく、もっとわかりやすく、受講生を良い意味でもっと巻き込んで。2021年はグレードアップした新バージョンで挑む。

もうひとつ残る問題が、オンラインで誕生したS4は十分な実技講習を受けていないということ。フラッグテクニック、オフサイドの見極め。オンラインの中にも実技に相当するコンテンツはあるが、弱い。新人S4が唯一実技指導を受けられるのが実地集合型での実技講習。ここをフォローせねば。そのため、審判統括部会と連携を取り、「明日から審判ができる」をテーマに実技講習セミナーを模索している。

「審判員資格認定講習会は実地集合型を基本とする」。この東京FAの方針通りに「審判講習会」事業を進めていきたいが、まだまだコロナ禍の不安は残る。不安がなくなるその日までオンライン型は突き進むしかない。

スタッフとはZOOMでしょっちゅう顔をあわせているが、もう1年くらい会っていない。審判仲間とも会っていない。しわと白髪が増えたのは隠せるが、でもサッカーは太陽のもと、直接、面と向かって楽しむもの。みなさまと対面でお会いできる日を楽しみにしています。



(オンラインS3認定 フロー図I)

👉 審判委員会からのご案内

●2021年度東京都レフリーアカデミーの募集

東京都サッカー協会では2019年度より東京レフリーアカデミー(プロジェクト)を立ち上げ、将来性のある若く向上心のある審判員の育成に力を入れております。このプロジェクトは将来、日本・世界で活躍するレフリーを発掘していくためのものです。短期・集中的にレフリーの研修会に参加して働き、その中でサッカー競技の理解・審判知識・審判実技の実践を行い、その中で上級へのチャレンジ・チャンスを得るものです。

(S2級の昇級をお約束できるものではありません)

★募集条件：①22歳以下、②東京アクティブ3級審判員であること、または今後アクティブ活動ができること。お問合せは(公財)東京都サッカー協会事務局へ

【担当】審判委員会 審判統括部 S2級パート アカデミー担当 佐野元康

●審判委員会今後のスケジュール

S2級開幕前研修会 3月13日(土)、14日(日)、18日(木) オンライン研修会

S3級開幕前研修会 3月20日(土)、28日(日) オンライン研修会

F2,3開幕前研修会 オンライン会議形式にて4月中旬開催予定、詳細は追ってご連絡いたします。